

▶ 会社概要

会 社 名 株式会社東京システム技研 (略称TSL)
設 立 1971年2月22日
役 員 代表取締役社長 布施 靖行
資本金等 2億2千5百万円
従業員数 200名 (関係会社含む)
本 社 〒160-0023
東京都新宿区西新宿1丁目21番 明宝ビル3F
TEL 03-3342-2651 FAX 03-3348-4634
関連会社 株式会社ティー・エス・エル北陸
〒920-0869
石川県金沢市上堤町1番33号 アパ金沢ビル4F
TEL 076-262-3266 FAX 076-265-6226



▶ 沿革

1971年	2月	(株)東京システム技研設立。東京エレクトロン(株)ソフトウェア部門が(株)東京放送の協力を得て分離独立し、資本金500万円、横浜で発足
1977年	1月	EDA (Electrical Design Automation) 分野に参入。論理シミュレータ、回路シミュレータなどの輸入販売を開始
1982年	12月	(株)東京エレクトロンが所有していた全株式を取得し、完全独立
1993年	2月	EUCを強力にバックアップするミドルウェア「DBEAM」発表
2000年	3月	通産省SI企業認定
2003年	8月	金沢営業所を分離し100%出資子会社(株)ティー・エス・エル北陸を設立
2006年	2月	プライバシーマーク取得
2008年	11月	エコアクション21認証・登録
2009年	5月	大学向けGPS出席管理ソリューション (iPhoneアプリ) を発表
2012年	1月	ISO/IEC27001 (情報セキュリティマネジメントシステム) 認証取得
2013年	1月	ISO9001 (品質マネジメントシステム) 認証取得
2013年	3月	スマホアプリ「上野動物園ナビ」リリース
2016年	6月	Windows10、Excel 2016をサポートした「DBEAM V9.0」販売開始
2018年	7月	新サービス est! forecast (AI需要予測) リリース
2023年	4月	新サービス est!matchmaker (IT業界向け人材マッチング) リリース

採用に関するお問い合わせ

メールアドレス : saiyo@tsl.co.jp
フリーダイヤル : 0120-03-1289 (携帯電話可)

Tokyo Systems Laboratories, Inc.
株式会社 東京システム技研

未来創造 テクノロジー More Value

～ 基盤技術と最新テクノロジーの融合で、
確かな明日を築く ～

Tokyo Systems Laboratories, Inc.
Recruiting Guide

MISSION

TSLの Vision

これまで培った基盤技術とAI・IoT・X-TECHなど
最先端デジタルテクノロジーを融合し、
お客さまや社会にさまざまなソリューションを提供する
デジタルトランスフォーメーションカンパニーを目指します

TSLの Core Value

お客さまに期待以上の価値を提供することで、
“心を打つ満足(宝)”を届けます

TSLの Culture (社風)

技術を継承しつつ、
最新技術の習得によりITプロフェッショナルを育成し
1人ひとりが夢をもって働ける風土を目指します

TSLの Compliance (法令遵守)

常に社会性を重んじ、
透明性の高い健全な事業活動を行います

BUSINESS

東京システム技研の事業



金融ソリューション

- ・金融業界向け業務アプリケーション開発・運用保守



製造ソリューション

- ・ERPパッケージ(生産販売原価管理システム)
- ・業務コンサルティング



AIソリューション

- ・需要予測システム[est! forecast]の開発・導入サポート
- ・IT業界向け人材マッチングサービス[est!matchmaker]
販売開始
- ・AIの導入支援、AIを活用したシステムの構築・開発・保守



クラウド インテグレーション

- ・Webシステム、スマートデバイスを活用した開発
- ・クラウドサービスの開発・保守
- ・大規模システムプロジェクトマネジメント



その他開発

- ・DX(デジタルトランスフォーメーション)コンサルティング
- ・X-TECH(ブロックチェーン・IoT・スマートデバイス・RPA)
ビジネス
- ・ISV(独立系ソフトウェアベンダー)ビジネス

※ブロックチェーン:分散型台帳技術
IoT:インターネットオブシングス
RPA:ロボティック・プロセス・オートメーション

KEYWORD

1971年設立
(歴史ある企業)

ERPパッケージ
導入実績
150社以上

AI技術
(est! forecast)

クラウドとIoTが連動した
高い付加価値のサービスを提供

大手複合グループ企業からも

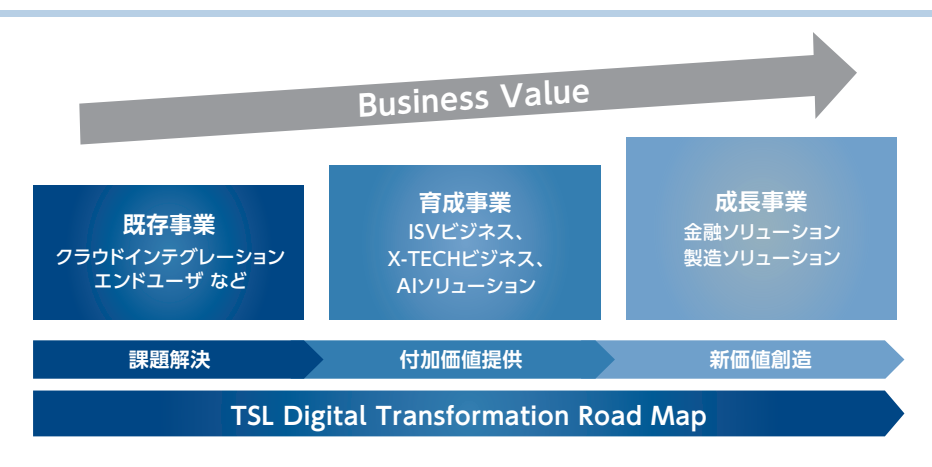
信頼される
ソリューション力

企画・設計・運用・改善・保守まで
ワンストップサービスが提供可能

幅広い技術領域

モバイル機器から
産業用機器向けの
各種組み込み機器開発力

事業戦略イメージ図



社員紹介

Q TSLを選んだ理由は？

小さいころから何かを作ることが好きで、「自分の作ったもので、人を笑顔にできる仕事に関わりたい…」と考えていました。そんな視点でIT業界を志望しましたが、一部にSEの労働環境やステイタス面でのネガティブ評価を耳にすることもありました。そんな折、会社訪問で自身もエンジニア出身である社長から、エンジニアを大切にしている企業姿勢や、技術力を重視している社風を聞きました。さらに部分的な受託ではなく、上流から下流工程まで、一気通貫でシステム開発を担っている姿勢を知り、「ここなら自分の成長を託すことができる」と確信して、入社を決意しました。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は？

入社1年目、課長と社内新製品アイデアコンテストに応募。グランプリを獲得できたのが、その後の自信につながりました。配属以来、コールセンターのオペレータ向けアプリケーション開発チームで、要件定義～リリースまで幅広く関わっています。当社が10年以上受注を継続している主力システムのひとつで、関連システムも多く、プロジェクト規模も大きいので全容把握に苦勞しますが、それだけに多くを学ぶチャンスに恵まれたチームでもあります。2023年の夏から、クラウド関連の新規システム開発に上流から参加しており、新たな挑戦課題に胸を躍らせています。

1日のスケジュール	9:00 出社 メールチェック/デスク整理	9:30 ミーティング/開発作業	12:00 昼休憩(昼寝)	13:00 ミーティング/開発作業	17:45 退社
-----------	-----------------------------	---------------------	------------------	----------------------	-------------



Y・T

金融ソリューション部
2022年入社
理学部・地球惑星科学科卒



T・K

金融ソリューション部
2002年入社
生産電子システム技術科卒

Q TSLを選んだ理由は？

就職に際しては「日本の製造業、特に半導体業界で働きたい」と考えていました。とはいえ、電気・電子を専攻したものの、生産管理に係わるCIM (Computer Integrated Manufacturing:コンピュータ統合生産)分野に明るかったわけではありません。しかしTSLでは、入社後に未経験者にもプログラミング研修が用意されていることを知り、入社を決断しました。また、出身地の北陸にも関連会社があり、将来的には地元に戻って働く選択肢があることも、入社意欲を後押しする追い風となりました。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は？

入社時の希望通り、液晶TV工場の歩留管理や半導体製造管理をはじめ、電子基板CADソフトの機能開発や大手流通グループ企業の食品生産管理など、幅広いシステム案件に関わることができました。現在は金融系コールセンターのシステム刷新プロジェクトで、新サービスへの切替え方式の検討や計画立案などを担当。後輩たちの育成にも努めています。ICT業界は進化の足が速く、常に新技術や手法の習得が求められます。日々新鮮な発見や学びがあり、モチベーションや挑戦心を燃やして仕事に励んでいます。

1日のスケジュール	9:30～10:00 出社 メールチェックおよび作業確認	10:00 打合せ・開発作業	12:00 同僚とランチ	13:00 打合せ・開発作業	19:00 退社
-----------	------------------------------------	-------------------	-----------------	-------------------	-------------

Q TSLを選んだ理由は？

就職活動に先立って「これからの時代を牽引するパワーは…」と業界研究を重ねた結果、ターゲットをICT業界に絞っていきました。もちろん、未知の世界に飛び込む不安がなかったわけではありません。しかし、TSLの会社説明会で、多くの先輩達がシステム構築未経験者でも、充実した研修体制や実務経験を通じて、ICTプロフェッショナルとして活躍していることを知り、「ここなら頑張れそうだ」と確信しました。実際に入社してみて、半年の研修期間を終えてプロジェクトに配属されてから、日々さらに実戦的な学びの機会に恵まれ、成長を実感しています。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は？

入社して1年ほどたった頃、クラウドのセキュリティ管理ツールに係わるプロジェクトに参加しました。主にプログラミングを担当しましたが、研修で学んだJavaの知識はもとより、私にとっては初めての新しい言語、TypeScriptやhtmlが求められました。そこで、先輩たちの成果である既存ソースコードを調べたり、アドバイスをもらったり…。次第に、自分でもコードが作成できるようになりました。その後のテスト工程で、コードの不具合も発見されましたが、それまでの理解度の蓄積のおかげで自らバグを修復し、トラブルの芽を摘むことができました。

1日のスケジュール	9:30 出社 メールチェック	10:00 開発作業	12:00 社内内でランチ・休憩	13:00 打合せ・開発作業	17:45 休憩	18:15 開発作業	19:00 退社
-----------	-----------------------	---------------	---------------------	-------------------	-------------	---------------	-------------



R・G

デジタルソリューション部
2020年入社
経営学部・経営学科卒



A・K

製造ソリューション部
2021年入社
農学部・応用生物化学科卒

Q TSLを選んだ理由は？

実は、入社するまで情報処理を本格的に学んだ経験はありませんでした。しかし「将来にわたって自己の核となる技術を身に着けたい」と考え、IT業界を志望しました。そんな眼差しで企業研究を進める中で、経験を問わず充実した研修制度が整備された環境を知り、この会社に着かれました。さらに、集合研修やOJTの期間も長く、人を大切に育てる文化と氣運を確信して入社を決めました。実際に入社してみると、1年目の研修が大変充実しており、OJTでも先輩たちに質問もしやすく、丁寧な指導のおかげで知識や理解が日々深まっていることが、実感できました。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は？

部門研修終了後、食品製造業向けに開発～結合テスト～システムテスト工程を担当。その後、ガス機器製造企業向けに既存パッケージカスタマイズの設計工程を担当しています。要件を明確化するためにお客さまとのコミュニケーションを深め、不明点を排除する姿勢で、丁寧な設計を心がけています。設計書作成後はお客先に出向いてプレゼンテーション。機能や仕様について、齟齬を生じないきめ細かい確認に気を配っています。開発に試行錯誤はつきものですが、自ら最適解を見出し、想定通りに動作した時の達成感と成長実感が、自分への大きなご褒美だと実感しています。

1日のスケジュール	9:30 出社 メールチェック・作業確認	10:00 開発作業・打ち合わせ	12:00 昼食休憩	13:00 開発作業・打ち合わせ	19:00 退社
-----------	----------------------------	---------------------	---------------	---------------------	-------------

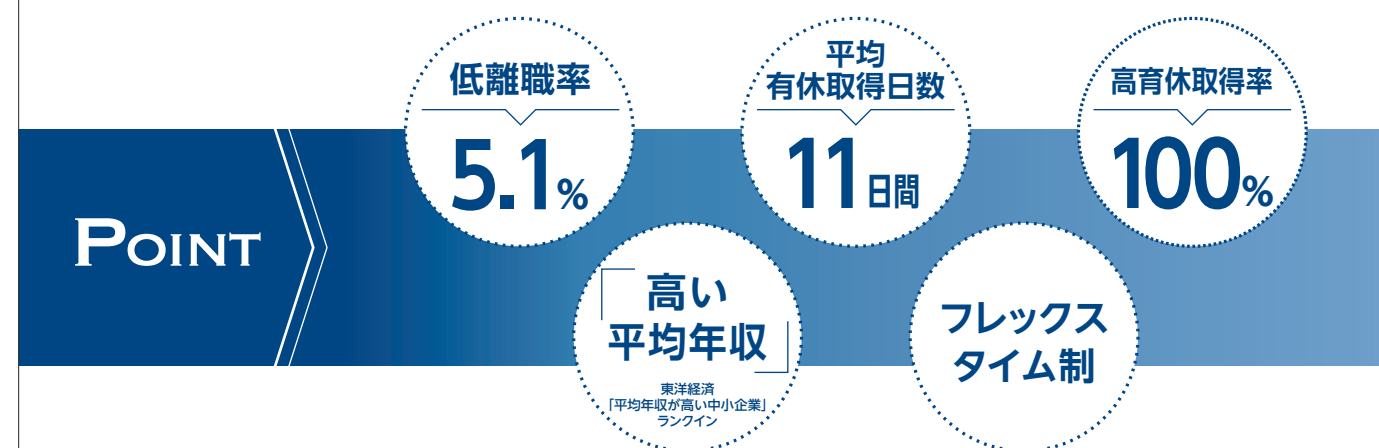


人事スローガン

“WORK HAPPINESS”

- 働くことが楽しくなる会社を創ります -

社員が心身ともに健康で楽しく働けるよう、
納得性・満足度の高い人事制度や
最高のパフォーマンスが発揮できる環境を創り続けています。



TRAINING SYSTEM

研修制度

▶ 新入社員研修

新入社員研修では、最初の2カ月間は集合研修として、コンピューター未経験の方でも理解できるようコンピューターについて1から学び、ハードウェア・ソフトウェアそれぞれについて研修を行うと同時に、SEとして最も必要なコミュニケーション力（聞く・話す・読む・書く）に重点をおいた研修を実施します。その後、配属された部門ごとの研修へと移行していきます。

1年間の研修体制 (月)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~
入社		部配属										
A. 集合研修												
		B. 部門研修										
						C. 初級技術者研修						
						D. OJT						

▶ OJT

期間は1年ですが個々のレベルにあわせて数年かけて行うこともあります。実際のプロジェクトに関わりながら成長を実感していただきます。また並行して基礎知識習得のため、講義も受けていただきます。データベースやネットワーク、セキュリティに関する技術など、エンジニアにとって必須となる知識がテーマです。

▶ その他の研修

新入社員研修後も先輩社員として後輩を迎え入れるための研修や、数年スキルを積み重ねた後にはリーダーとなるための研修、ほかにも今、話題のAI（人工知能）に関する中級技術者研修、通信教育制度などがあり、適性や自分のキャリアプランに合わせてスキルアップできる研修が充実しています。また、会社で推奨する資格を取得すると最大20万円の報奨金が支給されます。

